

新商品「プログラマティックネット（運用型全国 CM）」の検証運用を開始予定
全国 CM のリアルタイム入札と効果の可視化で
アドリーチマックスプラットフォームによる全国規模の運用が実現！

日本テレビ放送網株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長執行役員 福田博之、以下「日本テレビ」）は、地上波全国 CM※1 をオンラインかつリアルタイムに入札・運用できる新商品「プログラマティックネット（運用型全国 CM）」を開発しました。2025 年 10 月より一部の番組において検証運用を開始します。

日本テレビは、テクノロジーを活用した地上波広告の高度化と、デジタル広告との統合を目指し、2022 年より「アドリーチマックスプロジェクト」※2 を推進してまいりました。今年 4 月からは関東エリアで地上波広告におけるプログラマティックな入札および放送を開始しています。

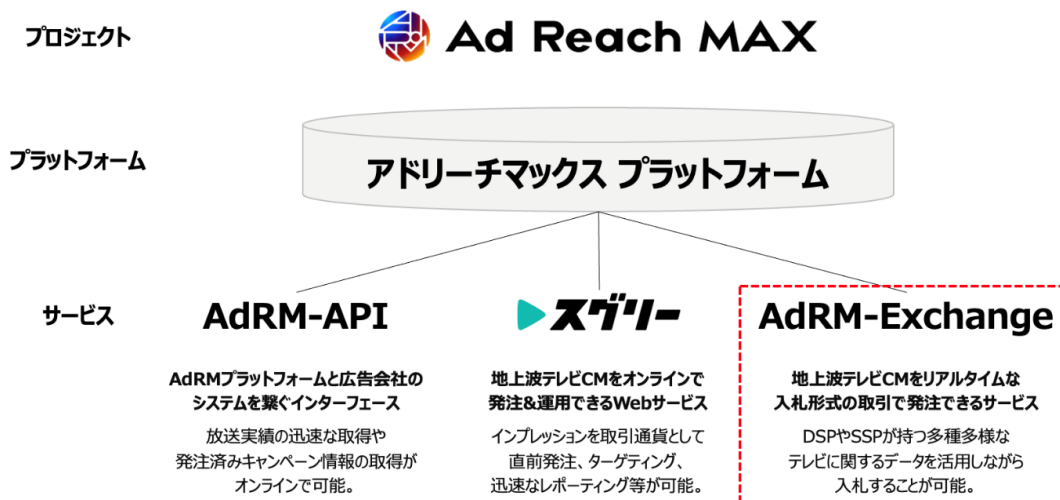
今回の「プログラマティックネット（運用型全国 CM）」の検証運用は、これまで関東エリアに限定されていたアドリーチマックスの取り組みを全国エリアへと拡張するためのトライアルです。関東ローカル CM と全国 CM を組み合わせた、より立体的な運用がアドリーチマックスプラットフォームで実現可能となります。なお、本検証では AdRM-Exchange※3 と接続する DSP※4 のみに入札経路を限定し、各 DSP が保有する多様なデータを活用することで、全国 CM の広告効果を可視化することも可能となります。

※1：日本テレビ系列の複数局（最大 30 局）で同時に放送される広告枠。全国一律のタイミングで視聴者に届けられるため、広範なリーチと高い認知効果が期待される

※2：テレビ広告をテクノロジーの力で再設計し、より使いやすい媒体へと進化させるために日本テレビで進められているプロジェクト

※3：AdRM が提供するアドリーチマックスプラットフォームと接続するサービスの一つ。DSP や SSP が持つ多種多様なデータを活用しながら入札することが可能

※4：広告枠を効率的かつ自動的に購入・配信するためのプラットフォーム。ユーザーの属性や行動データを活用し、最適な広告をリアルタイムで入札・表示することが可能



■プログラマティックネット（運用型全国 CM）とは

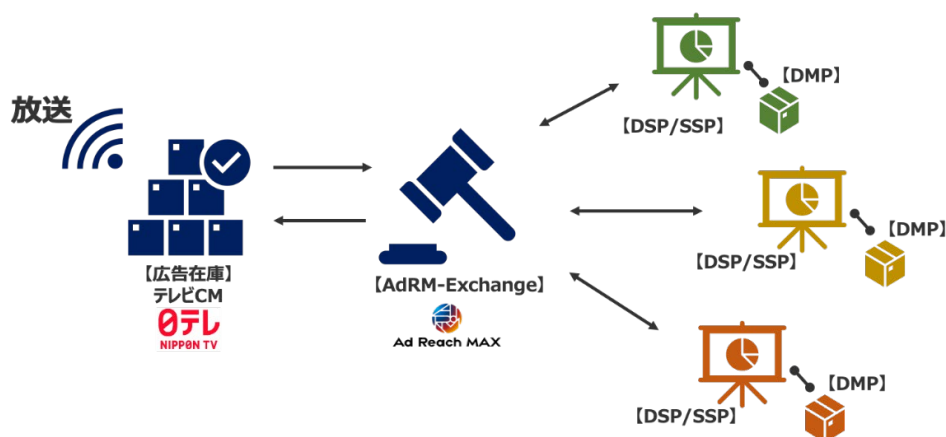
「プログラマティックネット」は、日本全国の放送局で同一の CM を同時に放送できる全国 CM※5 における新たな活用方法です。オークション形式によるオンラインかつリアルタイムでの入札・運用が可能となり、視聴実績（毎分視聴率）に基づいたインプレッション数に応じて課金が行われるため、より合理的かつ効果的な広告運用を実現します。さらに、放送直前のタイミングで入札・落札が行われることで、視聴者の関心、社会的トレンド、天候などの状況に応じた最適なクリエイティブ選定と放送が可能になります。

※5：番組・時間帯によってネット局数（CM が放送される放送局数）は異なる

■AdRM-Exchange とは

今回の検証運用では「プログラマティックネット」の買付経路を AdRM-Exchange に接続する DSP に限定します。AdRM-Exchange とは「アドリーチマックスプラットフォーム」が提供する地上波広告をデジタル広告のように柔軟に運用できるサービスで、DSP が持つ多様なデータを活用しながら CM 枠への入札をオンラインかつリアルタイムで行うことができます。

AdRM-Exchange は 2025 年 9 月頃までに 3 社の DSP との接続を予定しており、検証運用ではこれら 3 社すべてからの入札が可能です。さらに DSP を介した広告取引により、接続先のデータを活用した放送結果の可視化が可能となり、より透明性の高い広告運用を実現します。



本件に関するお問い合わせにつきましては、アドリーチマックス部までご連絡をお願いいたします。



Ad Reach MAX

<本件に関するお問合せ先>

日本テレビ 営業局営業戦略センター

アドリーチマックス部 arm-info@ntv.co.jp